

## 令和8年度 クラウドファンディングたかおか事業Q & A

### ○プロジェクトの募集対象者について

<p><u>Q</u> 高岡市外に住んでいるが、応募できるのか。</p>	<p><u>A</u> 市外在住の方でも、高岡市内において地域課題の解決や地域活性化に資する事業を行う予定であれば、応募可能です。 ただし、クラウドファンディングサイトの規定により、日本国内に住所を有する方に限ります。</p>
<p><u>Q</u> 日本国籍を取得していないが、応募できるのか。</p>	<p><u>A</u> 市内において地域課題の解決や地域活性化に資する事業を行う予定であれば、応募可能です。</p>
<p><u>Q</u> 未成年者も応募できるのか。</p>	<p><u>A</u> クラウドファンディングサイトの規定により、13歳以上であり、かつ法定代理人（親権者または未成年後見人）の同意を得る必要があります。</p>
<p><u>Q</u> 他の機関の補助金等を受ける予定であるが、応募は可能か。</p>	<p><u>A</u> 応募は可能ですが、他の機関では、他の補助金等との併用が禁止されている場合がありますので、補助金等の要件をご確認の上、ご応募ください。</p>
<p><u>Q</u> 「はじめてのクラウドファンディングセミナー」に参加しなければ、プロジェクトの応募はできないのか。</p>	<p><u>A</u> 応募される方には、セミナーへの参加を通じて、効果的なクラウドファンディングの活用方法や資金調達のスキルを学び、プロジェクトの成功につなげていただきたいと考えております。セミナーへの参加は、応募の際の必須要件とはしていませんが、積極的にご参加をご検討ください。</p>

### ○対象となる事業プロジェクトについて

<p><u>Q</u> 応募の対象となる事業プロジェクトは、どのようなものか。</p>	<p><u>A</u> 高岡市内で新たに行う、地域課題の解決や地域活性化に資する事業であれば、幅広く対象となります。 具体的には、若者の定着や移住定住の促進、空き家・空き店舗の活用、事業承継や新事業展開などを例示しておりますが、この例に限るものではありません。まずは高岡市チェンジ推進課にご相談ください。 なお、新たな挑戦を応援することを目的としているため、<u>既存事業の継続・維持などは対象外</u>となります。</p>
<p><u>Q</u> 「地域課題の解決や地域活性化に資する」とは、具体的にどういったことを指すのか。</p>	<p><u>A</u> 例えば、地域の人口減少や少子高齢化への対応、地元農産物等の高付加価値化、商店街の賑わい創出、地域コミュニティへの支援、本市の魅力を広く発信できるようふるさと納税返礼品の開発など、様々な取組が考えられます。</p>

<p><u>Q</u> 「若者の定着や移住定住の促進」とは具体的にどういった取組か。</p>	<p><u>A</u> 例えば、ワーケーションやテレワークの推進に関する事業、移住体験ツアーの開催、移住検討者向けのPR動画や市内マップの作成など、様々な取組が考えられます。</p>
<p><u>Q</u> 「空き家・空き店舗の活用」とは具体的にどういった取組か。</p>	<p><u>A</u> 例えば、空き家を活用した移住者向けのシェアハウスの整備、空き家を活用した地域に根差したコミュニティスペースの整備、空き店舗を活用した商店街の賑わい創出など、様々な取組が考えられます。</p>
<p><u>Q</u> 「事業承継や新事業展開」とは具体的にどういった取組か。</p>	<p><u>A</u> 例えば、地元農産物等の高付加価値化に向けた新たな商品開発、本市の魅力を広く発信できるようなふるさと納税返礼品の開発、地場産業の後継者育成に関する事業など、様々な取組が考えられます。</p>
<p><u>Q</u> 事業はいつまでに開始しなければならないのか。</p>	<p><u>A</u> 令和8年度中（令和9年3月31日まで）に事業を開始してください。</p>
<p><u>Q</u> 事業はいつまでに完了しなければならないのか。</p>	<p><u>A</u> 令和10年3月31日までに完了してください。 事業完了日から1か月以内に事業実績報告書の提出をお願いします。 また、令和8年度中に事業が完了しない場合は、令和9年3月31日までに、一旦、事業実施状況報告書を提出してください。</p>
<p><u>Q</u> 事業を市外で行うことは可能か。</p>	<p><u>A</u> 対象となる事業は、市内を拠点に実施してください。</p>
<p><u>Q</u> 支援金はどのような経費に充当できるのか。</p>	<p><u>A</u> 支援対象となる経費は、以下のとおりです。 【対象経費】 報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、修繕費、通信運搬費、広告料、手数料、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、原材料費、備品購入費、その他市長が必要と認める経費 【対象外経費】 人件費等</p>

○認定事業プロジェクトの選定について

<p><u>Q</u> 支援対象となる事業プロジェクトは、どのようにして選定されるのか。</p>	<p><u>A</u> 書面及びプレゼンテーションに基づいて、事業内容の新規性や実現可能性、地域課題解決への寄与度等による評価を事業評価委員会で行った後、市が選定します。 プレゼンテーションの開催日時・場所については、事業計画書を提出していただいた後に、別途ご連絡します。</p>
<p><u>Q</u> プレゼンテーションでは、どのようなことを説明すればよいか。</p>	<p><u>A</u> 事業プロジェクトの内容と併せて、実施計画書の記載項目にある「解決したい地域課題等」、事業プロジェクトの「新規性、独創性」、「実現可能性、継続性」、「寄附者（支援者）の共感や賛同を得るためのアピールポイント」、「寄附者との関係構築のための工夫」などをご説明ください。 PowerPoint で作成したスライド等を別途ご用意いただいても構いません。</p>

○寄附金の募集について

<p><u>Q</u> 寄附金が寄附目標額を超えた場合、超えた分の寄附金はどうなるのか。</p>	<p><u>A</u> 目標額を超えて集まった寄附金についても、支援金の支給対象となります。 なお、支援金の支給額は、寄附総額からクラウドファンディングサイトの手数料（13.2%）を差し引いた額となります。  【計算例】 100万円の目標額に対し、120万円の寄附が集まった場合 ⇒支援金額：104万1600円（120万×86.8%）</p>
<p><u>Q</u> 寄附金が寄附目標額を下回った場合はどうなるのか。</p>	<p><u>A</u> 「All-or-Nothing 方式」を採用しているため、<u>寄附目標額を下回った場合は、全額を支援者にお返しすることとなり、支援金の支給はありません。</u></p>
<p><u>Q</u> 寄附目標額を達成しなくても集まった資金を受け取れる「All-In 方式」は選べないのか。</p>	<p><u>A</u> 本事業では「All-In 方式」をお選びいただくことはできません。</p>
<p><u>Q</u> 寄附金は、必ずクラウドファンディングサイトを通じて寄附する必要があるか。（現金で直接寄附したいとの申出などがあった場合は、どうすればよいか。）</p>	<p><u>A</u> クラウドファンディングサイトを通じて寄附していただくよう、呼びかけをお願いします。 現金などで直接受領された場合、本事業の寄附金額に含めることはできません。</p>

<p><u>Q</u> 寄附金の募集開始までのスケジュールの目安は。</p>	<p><u>A</u> 事業プロジェクトの認定後、クラウドファンディングサイトにおけるアカウントの作成から寄附募集開始までに、実行者が行う作業は下記のとおりです。 これらの作業には通常、30～45 日間程度を要しますので、事業の実施時期に間に合うよう、お早めの作業を心掛けてください。</p> <p>【主な作業の流れ】 アカウントの作成 ⇒ ページ作成 ⇒ (市による内容確認) ⇒ (ページ修正) ⇒ ページ提出 ⇒ (クラウドファンディングサイトにおける審査) ⇒ (ページ修正) ⇒ 公開日時の設定 ⇒ 公開 (寄附募集の開始)</p>
<p><u>Q</u> 寄附金の募集期間の設定にあたって、制限はあるのか。</p>	<p><u>A</u> クラウドファンディングサイトのシステム上は、寄附募集の開始日(公開日)を0日目として、1～59 日間で寄附金の募集期間を設定することができます。</p> <p>ただし、令和8年中に寄附募集を開始する場合は、寄附金の募集期間の終了日(サイト上での公開終了日)を遅くとも <u>12月20日(日)までの日</u> に設定してください。</p> <p>また、令和9年に寄附募集を開始する場合は、原則として、<u>2月末までに寄附募集を終了していただくこと</u>となります(一度ご相談ください)。この際、別途、高岡市チェンジ推進課から寄附募集の終了日を指定します。</p> <p>支援金の1回目の支給時期は、寄附募集の終了日から約1か月後となるため、寄附金の募集期間の設定にあたっては、このことをご考慮ください。</p> <p>なお、<u>クラウドファンディングの成功率が高まるのは、30～45 日間と</u>されています。</p>

○支援者へのお礼(リターン)について

<p><u>Q</u> 支援者に対するお礼(リターン)は、どのようなものがよいか。</p>	<p><u>A</u> 例えば、手紙の送付や、既にふるさと納税ポータルサイトで高岡市の返礼品として登録されている品物の提供等が考えられます。 <u>返礼品の調達費用(返礼割合)は寄附額の3割以下となるようにする、返礼品は地場産品にするなど、必ずふるさと納税制度の趣旨に沿った範囲内で行ってください。</u></p>
<p><u>Q</u> 支援者に対するお礼(リターン)として、新規に開発する自社製品やサービスを提供することは可能か。</p>	<p><u>A</u> <u>寄附金の募集開始前に、総務省による確認(3～6か月程度)など、別途の手続きが必要となります</u>ので、あらかじめ、お早めに高岡市チェンジ推進課へご相談ください。</p>

○その他

<p><u>Q</u> 市から支給のあった支援金を返還しなければならぬ場合はあるのか。</p>	<p><u>A</u> 市が支援する事業プロジェクトに支援金が充当されていれば、原則、返還することはありません。 ただし、偽りや不正な行為によって支援金の支給を受けたと認められる場合は、支援金を返還させることがあります。</p>
<p><u>Q</u> クラウドファンディングは、パソコンを持っていないとできないのか。</p>	<p><u>A</u> クラウドファンディングサイトで寄附を募集する際は、プロジェクトの実行者が自ら、インターネットを介して、次の作業を実施する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 寄附募集ページの作成</li><li>・ 支援者からの質問対応、お礼等のやり取り</li><li>・ (プロジェクト達成後の) 実施状況のお知らせ など</li></ul> <p>このため、パソコンやスマートフォンなど作業のできる電子端末のほか、インターネット接続環境やメールアドレスが必要であり、実行者でこれらをご用意いただくこととなります。</p>